

母都市としての大阪が取り組むプロジェクト

戦略拠点での展開

大阪駅北地区

臨海部
(咲洲・夢洲等)

○就労機会の創出

(大阪駅北地区：開業後 22,000 人/年※)

○経済波及効果

(大阪駅北地区：開業後 2,143 億円/年※)

※民間の試算による。先行開発区域のみ

大阪駅北地区 知的集積からビジネス創造が展開される戦略拠点

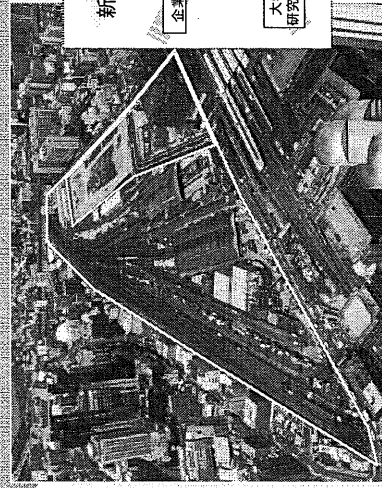
平成22年度 大阪駅北地区 さらなるステージへ

<先行開発区域>

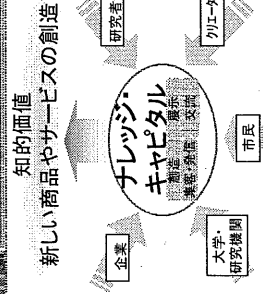
H22年3月
建築着工

(仮称)大阪オープンイノベーション
センターの準備開始

H24年度下期
まちびらきへ



大阪駅北地区(24ha)



<2期開発区域>

環境をテーマとした
2期開発ビジョン策定

JR東海道線支線地下化
概略設計に着手

土地区画整理事業
による基盤整備の推進

臨海部での取り組み(咲洲・夢洲等)

○低炭素社会の構築 再生可能エネルギーの活用

「3つの危機」
地球温暖化、エネルギー、金融



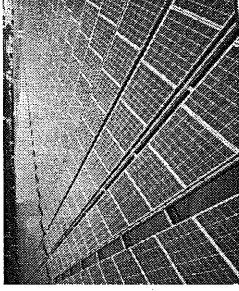
低炭素社会に向け産業・
社会の変革へ

臨海部(咲洲、夢洲等)

太陽光発電の大規模展開

○夢洲 民間事業者との連携によるメガソーラー発電の導入検討
(10メガワット[住宅3000戸相当]以上)

電気自動車(EV)の
普及拡大



○環境・エネルギー産業等の集積、振興
○南・東アジアとのビジネス交流・
交易拠点の形成

夢洲先行開発地区

産業振興に不可欠な物流機能の強化

○埠頭公社の株式会社化

○国際コンテナ戦略港湾の指定をめざした
取り組み

企業等誘致・産業振興策

○誘致プロモーション
(企業誘致対象用地 約50ha)

○経済特区制度の創設に向けた検討 など

咲洲コスモスクエア地区

ビジネス・住環境の改善 ～前倒しで取組む～

○大型車の渋滞緩和のため入港料インセン
ティブなどによる埠頭再編の促進

○ペDESTリアンデッキ、防災機能の整備に着手

コンベンション機能等の強化

○世界観光機関アジア太平洋センターの設置
など